

新型コロナウイルスに関する農林水産省対策本部（第2回） 概要

日時 : 令和2年2月18日(火) 18時20分～18時35分

場所 : 農林水産省第1特別会議室

出席者 : 江藤大臣、加藤副大臣、河野政務官、藤木政務官、次官、農林水産審議官、官房長、総括審議官、総括審議官(国際)、危機管理・政策立案総括審議官、統計部長、報道官、消費・安全局長、食料産業局長、生産局長、経営局長、農村振興局長、政策統括官、農林水産技術会議事務局長、林野庁長官、水産庁長官、秘書課長

内容 :

1 本部長御発言(大臣)

国内感染については、異なる局面に入ったという認識はあるが、引き続き、拡大防止等に努めるため、第2回対策本部を開催する。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けては、あらゆるリソースを活用することが重要です。農林水産省としては、厚生労働省と緊密に連絡をとりつつ、PCR施設を持つ所管機関において、厚生労働省の基準に合うものについては、協力をしていきたいと考えている。

また、農林水産省として、関係団体や職員を含めた健康管理に努めるとともに、国内感染の拡大防止等を図るため、必要な措置を先手先手で講じてください。特に局長をはじめ職員については、体調に不安がある場合には積極的に休みを取ることを徹底させていただきたい。

さらに、これまで行ってきた、退避邦人の方々やクルーズ船から下船された方々に対する2施設、14名の体制で行っている食事等の提供等について、引き続き、最大限の努力をしていただきたい。

2 政府対策本部の概要について

危機管理・政策立案総括審議官より説明

3 新型コロナウイルス感染症についての受診の目安等について

危機管理・政策立案総括審議官より報告

4 農林水産省の対応について

危機管理・政策立案総括審議官、経営局長、秘書課長より報告

5 その他

<江藤大臣>

PCR検査については、国内に入ってくるCSFや病虫害の検疫等の第一義的な責務を放棄することはできないが、できる限り協力しなければならないと思っている、ということとは厚労大臣にも話をした。

今日は回線が繋がっていないため、農政局に直接話ができないが、地方農政局も含め多くの職員がいる。国会開会中ではあるが、テレワークはどうするか。問取り等もあり役所としては1番忙しい時期ではあるが、テレワークに取り組むなら地方農政局も含めて、早くやった方がよい。また、時差出勤についても秘書課として真剣に考えるように。省が機能不全に陥っては困る。工夫をして早く結論を出して報告してほしい。そして実

行に移していきたいと思う。金曜日の閣議後記者会見で、農水省としてどのように取り組むか言えるようにしてもらえると良い。

水産庁に申し上げるが、取締船は非常にクローズドなスペースで毎日厳しい任務に耐えていると思う。船長に通達を出す等して、体調が怪しい人がいれば任務の最中であっても、1度最寄りの港に戻りそういった人を下ろすという措置については、恐れずにやっていただきたい。

責任感も重要だが、無理して頑張ると他の者にうつす、今頑張ることは大迷惑というくらいの気持ちをもってやってもらいたい。体調管理も仕事のうちだと高い意識をもって仕事に励んでいただきたい。

以上